

# PasswordLocker3

## 型番：HUD-PL\*\*GM

## マニュアル

この度は PasswordLocker3(以下、本製品)をご購入いただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では本製品の導入から使用方法までを説明しています。本製品を正しくご利用いただくために、使用開始前に、必ずこの取扱説明書を必ずお読みください。使用開始後もこの取扱説明書は大切に保管してください。

## 1 ご使用になる前に

本製品をご使用になる前に、本製品起動時に表示される使用許諾約款を必ずご確認、同意していただきますようお願い申し上げます。

### 使用上の注意事項

本製品を正しくお使いいただくために、必ず下記に示す注意事項をお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。本製品を接続して使用する対象機器の故障、トラブルやデータの消失・破損、または誤った取り扱いのために生じた本製品の故障、トラブルは、保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

#### 警告表示の意味

 <b>警告</b>	この表示は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示は、人が傷害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容を示しています



## 警告

- ・本製品を取り付けて使用する際は、取り付ける対象機器のメーカーが提示する警告、注意事項に従ってください。
- ・指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火、火災、発熱、感電などの原因となります。
- ・本製品の分解や改造、修理等は絶対に行わないでください。火災、感電、故障の恐れがあります。
- ・濡れた手で本製品を使用しないでください。感電の恐れや故障の原因となります。
- ・小さなお子様や乳幼児の手の届くところに置かないでください。キャップ等を誤って飲み込むと窒息の恐れがあります。万一飲み込んだ時は、すぐに医師にご相談ください。
- ・本製品は水を使う場所や湿気が多い場所で使用しないでください。感電の恐れや、火災故障の原因となります。
- ・本製品や本製品を接続した機器に液体や異物が入った場合、または本製品や機器から煙が出たり、悪臭がした場合は、すぐに機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると、感電の恐れや火災の原因となります。
- ・弊社は品質、信頼性の向上に努めておりますが、一般に半導体を使用した製品は誤作動したり故障したりする可能性があります。本製品を使用する場合は、事前に、本製品を使用する製品の誤作動や故障により、お客様または第三者の生命・身体・財産が侵害される可能性がないことを必ずご確認ください。



## 注意

- ・本製品に触れる前に、金属等に手を触れて身体の静電気を取り除いてください。静電気により破損、データ消失の恐れがあります。
- ・無理に曲げたり、落としたり、傷つけたり、上に重いものを乗せたりしないでください。故障の原因となります。
- ・本製品のコネクタに汚れ、ほこりなどが付着している場合、乾いたきれいな布で取り除いてください。汚れたまま使用すると故障の原因となります。
- ・本製品にデータの書き込み・読み出し中に、本製品を機器から取り外したり、機器の電源を切ったりしないでください。データが破壊、または消去される可能性があり、製品の故障の原因となります。
- ・本製品を取り付けて使用する際は、取り付ける対象機器の取扱説明書の使用方法、注意事項に従ってご使用ください。
- ・本製品に保存するデータ、または保存されるデータは、必ずデータのバックアップを取ってください。本製品内に記録したプログラムやデータの消失、破損等の責任は負いかねますので予めご了承ください。  
※弊社ではデータ復旧、回復作業は行っておりません。
- ・本製品はフラッシュメモリを使用している関係し寿命があります（製品保証期間は1年間です）。長期間ご使用になると、データの書き込み・読み込みができなくなります。
- ・本製品は、お客様のシステムに組込むことを想定しておりません。組込む場合は、弊社は本製品に起因するか否かにかかわらず、弊社は一切の責任を負いません。
- ・弊社は、お客様が、日本国内において、本製品を使用する非独占的且つ移転不能な権利を認めます。本製品は、あくまで、お客様若しくはお客様が使用許諾約款に規定される監査を弊社に許可可能な国内関連会社での自己使用に限定されます。国内外を問わず、如何なる場合も、本製品の第三者へのレンタル、譲渡はできません。万一お客様が、本件製品を海外の関連会社で使用することを御希望のときは、事前に必ず弊社の書面による承諾を得てください。本製品を海外に輸出するときは、国内外の、関連するすべての輸出法規並びに手続きに完全に従ってください。
- ・本製品は、国内輸送を想定した梱包にてお届けしています。海外輸送される場合は、お客様にて海外輸送用に梱包いただきますようお願いいたします。

## 保管上のご注意

下記の場所では本製品を保管しないでください。製品に悪影響を及ぼしたり、感電、火災の原因になったりする場合があります。

- ・ 直射日光があたるところ
- ・ 水濡れの可能性のあるところ
- ・ 暖房器具の周辺、火気のある周辺
- ・ 高温（50℃以上）、多湿（85%以上）で結露を起こすようなところ、急激に温度の変化があるところ
- ・ 平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
- ・ 強い磁界や静電気の発生するところ
- ・ ほこりの多いところ

## 製品保証規定

### ■保証内容

1. 弊社が定める保証期間（本製品ご購入日から起算されます。）内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。

### ■無償保証範囲

2. 以下の場合には、保証対象外となります。
  - (1) 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
  - (2) 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、またはご購入日が確認できる証明書（レシート・納品書など）をご提示いただけない場合。
  - (3) 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
  - (4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
  - (5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
  - (6) 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
  - (7) 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
  - (8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
  - (9) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

### ■修理

3. 修理のご依頼は、本保証書を本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
4. 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段（宅配や簡易書留など）をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いません。
5. 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。
6. 有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしかねます。
7. 記憶メディア・ストレージ製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの保全は行わず、全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願い致します。

### ■免責事項

8. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
9. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いません。

### ■有効範囲

10. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
11. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

## 補償の制限

如何なる場合であっても、弊社は、お客様に対して、本件製品に関連して生じた、利益の損失、使用の損失、データの損失、信用の損失、信頼の損失、ビジネスの中断若しくは他の一切の類似の損害を含む如何なる付随的な、間接的な、特別な、また派生的な損害、及び逸失利益の喪失に係る賠償の責任を負いません。

## 2 同梱品の確認

本製品のパッケージには、次のものが含まれます。はじめに、すべてのものが揃っているかご確認ください。万一、不足品がありましたら、ご購入の販売店または弊社までお知らせください。

□ PasswordLocker 3(製品本体)

×1個

## 3 本製品について

本製品は、情報漏洩対策としてパスワードロック機能と共にハードウェア AES256bit 暗号化機能した情報漏洩対策 USB メモリです。SecurityUSB Manager に対応し、様々なポリシー設定、機能追加、管理を行うことができます。

### 本製品の特長

#### ✓ パスワードロック機能

本製品の紛失、盗難時の情報漏洩を防ぐためにパスワードによるロック（保護）機能を搭載しています。

#### ✓ ソフトウェアの自動アップデート機能

本製品はインターネットに接続可能なPCに本製品を接続することで自動的にソフトウェアアップデートを行います。

#### ✓ リムーバブルディスク領域の書き込み禁止機能

リムーバブルディスク領域を書き込み禁止に設定することができます。

保存したデータの改ざんや消去を防止するための機能です。

#### ✓ 初期化

本製品を初期化する機能です。初期化を行うことによりパスワード、リムーバブルディスクのデータが削除されます。

#### ✓ Autorun.inf 自動削除機能

パスワードロック解除後、リムーバブルディスク内の「Autorun.inf」を自動で削除する機能です。

#### ✓ ハードウェア暗号化機能

本製品はハードウェアによる自動暗号化機能を搭載しています。すべてのデータを強制的に暗号化して保存しますので、万一、紛失・盗難等があっても情報の流出を防ぐことができます。自動暗号化機能により、パスワード設定後は自動的にすべてのデータを暗号化してから書き込みをおこなうので、暗号化されていないデータが書き込まれることはありません。またデータの読み出しにおいても、自動的に復号化が行われるので、暗号化を意識することなく、直接本製品内のデータを読み書きすることができます。暗号化方式には、米国政府標準で日本政府も推奨している信頼性の高い「AES 方式(256bit)」を採用しています。



## ✓ ログ出力/閲覧機能

PC の情報/デバイスの情報を自動的にログとしてデバイス内に保存し、閲覧することができる機能です。

ログファイルを一括削除、ログファイルを一括で PC へ出力する機能があります。

ログファイルはデバイス内の秘匿領域に保存されるため、ユーザ様が誤って消すことはありません。

## ✓ SecurityUSB Manager に対応

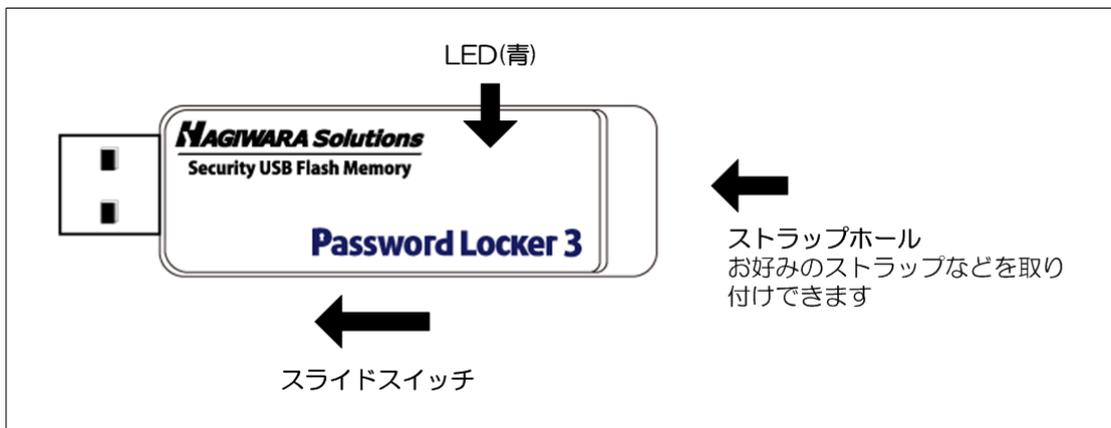
SecurityUSB Manager に対応し、様々なポリシー設定、機能追加、管理を行うことができます。

SecurityUSB Manager により、本製品に以下の設定変更が可能です。

- ・ パスワード変更の許可/禁止（標準設定：許可）
- ・ パスワードヒント機能の許可/禁止（標準設定：許可）
- ・ パスワードの最小文字数の設定（標準設定：8 文字）
- ・ パスワードのアルファベット 最小使用文字数設定（標準設定：0 文字）
- ・ パスワードの数字 最小使用文字数設定（標準設定：0 文字）
- ・ パスワードの記号 最小使用文字数設定（標準設定：0 文字）
- ・ パスワード最入力許可回数設定（標準設定：5 回）
- ・ 製品の初期化機能の許可/禁止（標準設定：許可）
- ・ 初期パスワード/ヒント登録（標準設定：初期パスワード/ヒント登録無し）
- ・ 特殊パスワード機能の許可/禁止（標準設定：禁止）
- ・ 自動パスワード解除機能の許可/禁止（標準設定：禁止）
- ・ 使用 PC 制限機能の許可/禁止（標準設定：禁止）
- ・ データレスキュー/遠隔データレスキュー機能の許可/禁止（標準設定：禁止）

ポリシー変更方法につきましては SecurityUSB Manager マニュアルを確認ください。

## 本製品の各部名称



## 製品仕様

USB インターフェース	USB 2.0 (High Speed/Full Speed) /USB1.1 (Full Speed)
動作環境 (*1*2*3*4*6)	USB インターフェースを標準搭載した DOS/V 機器 物理空きメモリ-容量 50MB 以上 CD-ROM ドライブが認識されること CD-ROM ドライブによるオートラン実行がされること USB マスストレージドライバがあること USB HID ドライバがあること インターネット環境に接続できること*8
対応 OS *5 *10	Windows 2000 Professional with SP4 Windows XP with SP3 Windows XP Embedded with SP2 *9 Windows VISTA with SP1 and SP2 Windows 7 Windows Server 2003 with SP2 Windows Server 2003 R2 with SP2 Windows Server 2008 with SP2 Windows Server 2008 R2 *7 ※日本語 OS に限ります
対応ユーザアカウント	コンピュータの管理者 (Administrator) 制限ユーザ
外形寸法	全長 60.0mm×幅 20.8mm×高さ 7.8mm (USB コネクタ収納時)
ハードウェア暗号化方式	AES 256bit
対応 SecurityUSB Manager	SecurityUSB Manager (型番: HUD-PUMPA)

- \*1 拡張ボードで増設した USB インターフェースには対応していません。
- \*2 USB Mass Storage Class ドライバ、HID Class ドライバ、CD-ROM ドライバがあらかじめ組み込まれている必要があります。
- \*3 オートランによるアプリケーション起動を行うには、OS 側でオートラン実行が有効となっている必要があります。  
設定方法は P.24 (本製品を PC の USB ポートに接続してもソフトウェアが自動起動しません。)
- \*4 Proxy サーバを経由してネットワークに接続する際にユーザ認証が必要になる場合は、モニタ及びキーボードが必要です。
- \*5 64bit OS の対応について  
本製品のソフトウェアは 32bit アプリケーションです。  
64bitOS 上では「WOW64」機能を使用し、32bit 互換モードで動作します。  
64bitOS で 32bit アプリを動作させても自動的に「WOW64」機能を使用するため、特別な作業は必要ありません。  
※WOW64 を無効にしている 64bitOS では、本製品のソフトウェアは動作しません。
- \*6 下記のコンポーネントが必ず組み込まれている必要があります。  
・ Basic TCP/IP Networking。
- \*7 Windows Server 2008 SP2 の制限ユーザ下では本製品は動作しません。
- \*8 ソフトウェア更新の場合に必要となります。  
proxy サーバを経由した環境でも更新ソフトウェアをダウンロードが可能です。  
・ ユーザ名/パスワード/プロキシサーバ/ポート番号  
を入力するとインターネットへの接続が可能になります。  
ユーザ名、パスワード、プロキシサーバ、ポート番号はネットワーク管理者にお問い合わせください。

\*9 以下の関連するコンポーネントが組み込まれている必要があります。(※動作基準は弊社環境下での動作確認としております)

- ・USB 関連全般のコンポーネント
- ・ドライブ関連のコンポーネント
- ・ネットワーク関連のコンポーネント
- ・アプリケーション API 関連のコンポーネント

〈注〉：Windows XP Embedded においては、弊社特定環境における動作確認結果として記載しております。

同 OS でのご使用に関しては、お客様の実際の環境において導入前に必ず動作確認をお願い致します

\*10 Windows Server においては、弊社環境下における動作確認結果を動作基準としております。

## 4 セットアップから運用開始までの流れ

〈SecurityUSB Manager でポリシー設定を行う場合〉

[管理者] SecurityUSB Manager によるポリシー設定	SecurityUSB Manager でポリシー設定を行う場合、ユーザがご使用前に設定する必要があります。SecurityUSB Manager を使用し、対象デバイスへ設定を書きこんでください。
---	---

〈セットアップ〉

パスワードの登録	本製品をインターネットに接続されている PC に接続します。 自動実行でパスワードの初期パスワード登録画面が表示されます。 パスワードを入力して[登録]をクリックします。 登録後、パスワード入力画面に切り替わりますので、登録したパスワードを再度入力するとリムーバブルディスク領域にアクセスすることができます。
----------	---

〈製品のご使用〉

本製品にデータ を書込む/読み込む	パスワードを入力し、パスワード解除を行い、 リムーバブルディスク領域に保存するデータをコピーまたは移動します。
----------------------	--

本製品を取り外す	本製品を取り外す場合タスクトレイまたは通知領域の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。メッセージのポップアップが表示されたら、本製品のドライブ名を確認してクリックします。
----------	---

## 5 ご使用方法

本章では、本製品の使用方法などを説明しております。運用開始前に「使用上の注意事項」、「ご使用にあたって」などを必ずお読みください。SecurityUSB Manager の設定によっては本マニュアル記載の動作と異なる箇所があることをご了承ください。本マニュアルでは標準設定に基づき記載致します。

### ご使用にあたって

- ・本製品を接続した状態でパソコンを起動した場合、前回異常終了がなくてもスキャンディスクが自動的に行われる場合があります。
- ・本製品を接続した状態でパソコンを起動した場合、これまでに接続したことのあるデバイスであっても新たにデバイスを認識する表示が出ることがあります。
- ・本製品を接続してから認識されるまでに 5 分ほど時間がかかる場合があります。パソコンの再操作が可能になるまでお待ちください。
- ・本製品は著作権保護機能には対応しておりません。
- ・パソコンの電源が入った状態で、本製品をパソコンから取り外す際には、タスクトレイ（通知領域）上で、「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。無理に取り外しますと、ファイルが消失したり、故障の原因になります。
- ・消失・破損したデータに関しては、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品は、正しい向きでまっすぐ抜き差ししてください。
- ・本製品はスタンバイや休止状態、スリープ状態には対応しておりません。
- ・本製品を湿気やホコリの多いところで使用しないでください。
- ・本製品に強い衝撃を与えないでください。
- ・本製品をお手入れの際には乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。
- ・本製品を同時に複数台使用することはできません。

### 使用許諾約款の同意

本製品を PC の USB ポートに接続するとマイコンピュータ上に「PasswordLocker3」と「リムーバブルディスク」のアイコンが表示されます。

※ ご使用の PC によって、アイコン、ドライブ名、表示順が異なる場合があります。

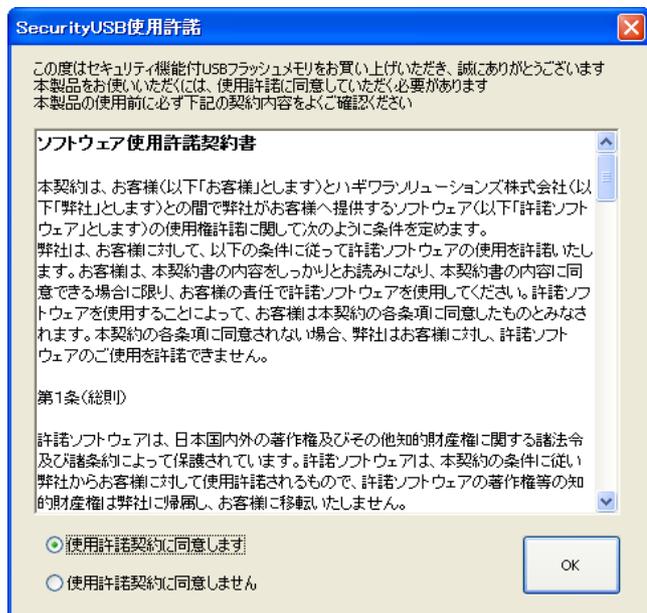


<b>NOTE</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ USB ハブやキーボードの USB ポートには接続しないでください。正常に動作しないことがあります</li><li>・ Windows 7 の場合、「パスワードロックの解除」を実行しないと、リムーバブルドライブのアイコンは表示されません</li><li>・ パスワードロック解除前のリムーバブルディスクドライブをクリックした場合、[ディスク挿入]画面が表示されます。</li><li>・ 再起動メッセージが表示される事がありますが、再起動する必要はありません。 表示された場合は、再起動メッセージの「いいえ」をクリックしてください。</li></ul>
-------------	--

オペレーティングシステムの自動実行機能により本製品の使用許諾約款が表示されますので、内容を確認頂き、問題が無ければ、[使用許可契約に同意します]を選択し、[OK]ボタンを押してください。

※画面が表示されない場合は、マイコンピュータ上の「PasswordLocker3」アイコンを右クリックします。

[開く]をクリックし、[Startup.exe]ファイルをダブルクリックして実行します。



## パスワードの初期設定

 NOTE	<p>SecurityUSB Manager によって以下の設定変更が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 初期パスワード/ヒントの登録（標準設定：初期パスワード/ヒント登録無し）</li><li>・ パスワードヒント機能の許可/禁止（標準設定：許可）</li><li>・ パスワードの最小文字数の設定（標準設定：8文字）</li><li>・ パスワードのアルファベット 最小使用文字数設定（標準設定：0文字）</li><li>・ パスワードの数字 最小使用文字数設定（標準設定：0文字）</li><li>・ パスワードの記号 最小使用文字数設定（標準設定：0文字）</li></ul>
---	--

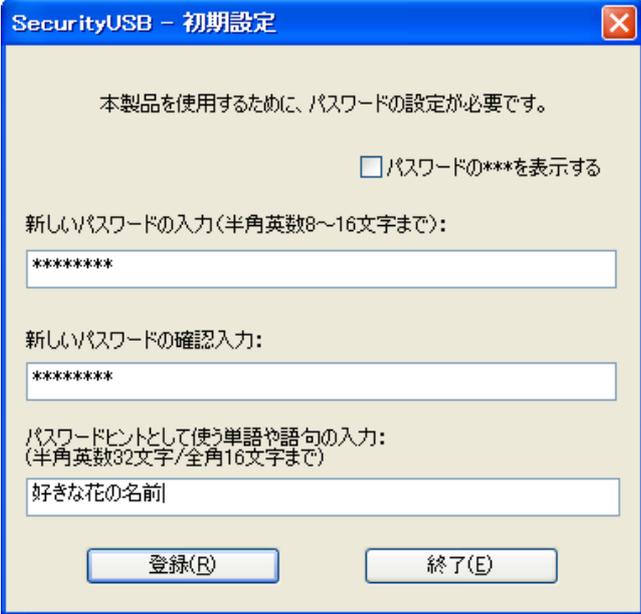
本製品をご利用になるには必ずパスワードの設定が必要です

### 1. パスワードを入力します。

パスワードは 8～16 文字までの半角英数字と以下の半角記号が使用できます。

! # \$ % & ' ( ) = ~ | \ { + \* } < > ? \_ - ^ ¥ @ [ ; : ] , . /

### 2. パスワードヒントを入力後、[登録]をクリックします。



 NOTE	<ul style="list-style-type: none"><li>・ パスワードを設定しないと本製品のリムーバブルディスク領域は使用できません。</li><li>・ 解除される恐れのあるような簡単なパスワードを設定しないように注意してください。</li></ul>
---	---

## パスワードロックの解除

NOTE

SecurityUSB Manager によって以下の設定変更が可能です。

- ・ 自動パスワード解除機能の許可/禁止（標準設定：禁止）

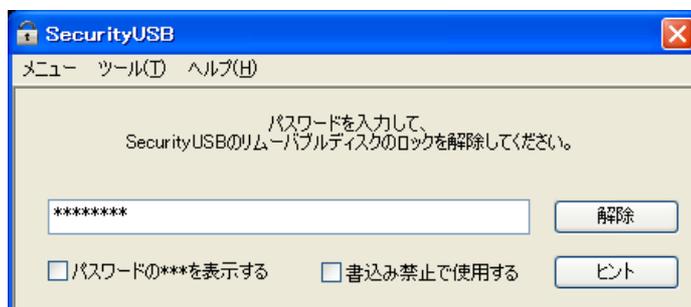
パスワードの初期設定が完了すると続いてパスワードの入力画面が表示します。

登録したパスワードを入力し、[解除]をクリックします。

パスワードロック解除後、PL モニタリング ソフトウェアが起動します。

※パスワードの初期設定が完了すると、2 回目以降は本製品を PC に接続すると、右図のパスワードの入力画面を表示します。

※[パスワードの\*\*\*を表示する]にチェックを入れた場合、入力したパスワードを見ることができます。



NOTE

[解除]を実行してパスワードロックを解除すると、本製品をパソコンから取りはずすまでは、データを読み書きできる状態です。本製品をいったんパソコンから取りはずし、次回パソコンに接続したときは、パスワードロックのかかった状態になります。パソコンから取りはずすときにパスワードロックをかけ直す必要はありません。



パスワードの入力を設定回数以上違えるとリムーバブルディスクにアクセスすることができなくなります。再度アクセスするには「本製品の初期化（パスワードの初期化）」が必要となり、その場合はデータがすべて削除されます。  
正しいパスワードを入れる事ができないことによる、データの強制消去、内容確認が不可能になる事態、その他に対して当社は一切の責任を負いません。また、一切の補償をいたしません。

## パスワードの変更

設定済のパスワードを別のパスワードに変更することができます。

NOTE

SecurityUSB Manager によって以下の設定変更が可能です。

- ・ パスワード変更の許可/禁止（標準設定：許可）

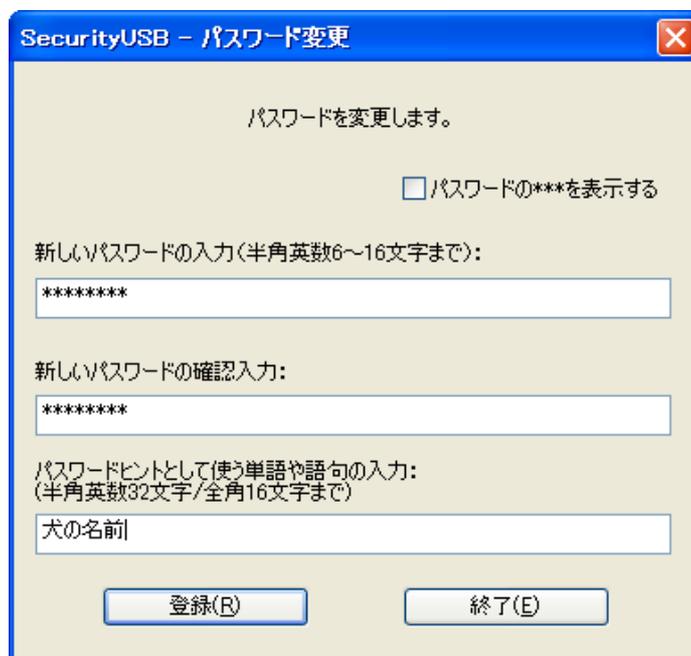
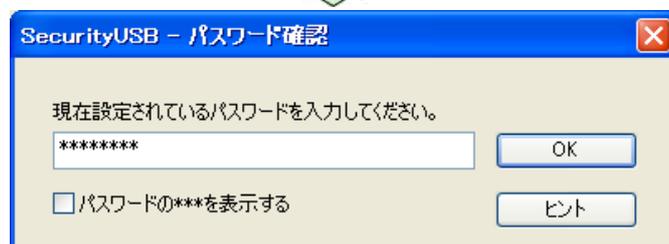
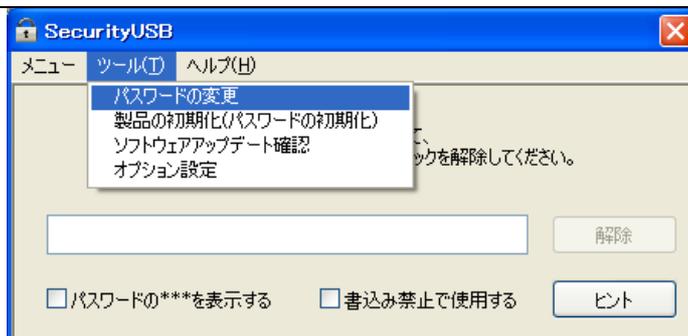
パスワード入力画面から「ツール」をクリックし「パスワードの変更」をクリックします。

現在設定しているパスワードを入力します。

新しいパスワードとパスワードのヒントを入力し、[登録]をクリックします。

登録が完了すると右図が表示されます。

[OK]をクリックすると、パスワード入力画面へ戻ります。



## 本製品の初期化（パスワードの初期化）

パスワードを紛失した場合やパスワードの入力を設定回数ミスした場合、本製品を再度ご利用になるには初期化を行う必要があります。



パスワードを初期化すると、本製品は工場出荷状態に戻ります。ユーザデータは削除されますので、必ずバックアップを取ることをお勧め致します。

### NOTE

SecurityUSB Manager によって以下の設定変更が可能です。

- ・ 製品の初期化機能の許可/禁止（標準設定：許可）
- ・ パスワード再入力許可回数設定（標準設定：5回）

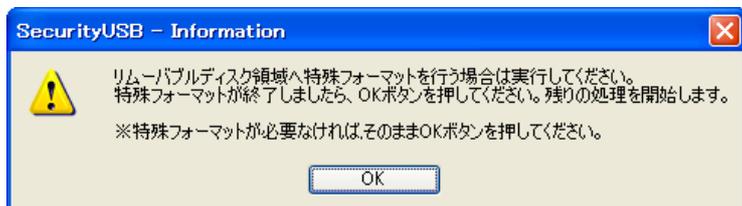
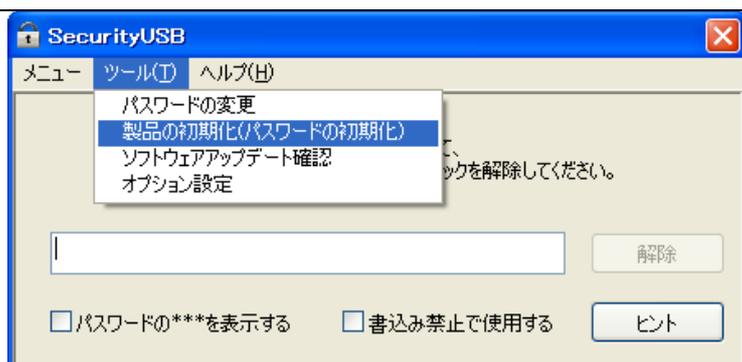
パスワード入力画面から[ツール]をクリックし[製品の初期化（パスワードの初期化）]をクリックします。

内容を確認の上問題が無ければ[OK]をクリックします。

お客様のシステム等で弊社製品に対して、特殊フォーマットが必要な場合は[OK]をクリックします。

特殊フォーマットが必要な場合※は、お客様のシステムの「専用のフォーマットソフト」等でリムーバブルディスク領域のフォーマットを行ってください。フォーマットが完了したら[OK]をクリックしてください。

初期化が完了しますと右図の画面が表示されますので[OK]をクリックします。



## 遠隔データレスキュー機能

パスワードを指定回数(標準:5回)以上間違えると、本製品が使用出来なくなります。

SecurityUSB Manager によって、データレスキュー/遠隔データレスキュー機能を“有効”した場合、管理者との間のファイル交換により、デバイス内のデータを残したまま、パスワードの初期化を行うことができます。

もしくは管理者へデバイスを渡し、データレスキュー機能でデバイス内のデータを残したまま、パスワードの初期化を行うことができます。本機能はパスワードを指定回数間違える前にも使用可能です。

本章では遠隔データレスキュー機能について記載します。データレスキュー機能については SecurityUSB Manager の管理者へ問い合わせを行なってください。



本機能を使用するには“事前”に SecurityUSB Manager によって遠隔データレスキュー機能を有効にする必要があります。パスワードを指定回数間違えた後に、デバイス内のデータを保持したまま、遠隔データレスキュー機能を有効にすることはできないので、ご注意ください。

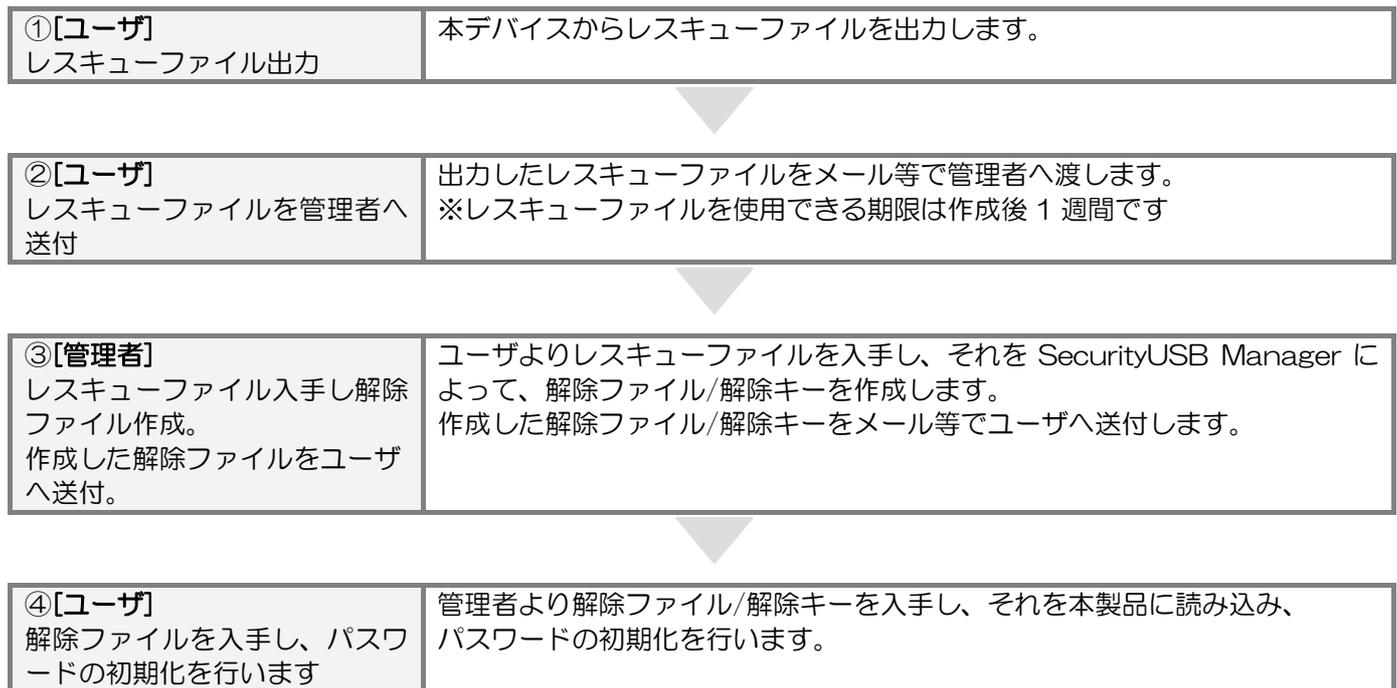


SecurityUSB Manager によって以下の設定変更が可能です。

- ・ 特殊パスワード機能の許可/禁止（標準設定：禁止）
- ・ データレスキュー/遠隔データレスキュー機能の許可/禁止（標準設定：禁止）

### ■遠隔データレスキューの流れ

※SecurityUSB Manager によって遠隔データレスキュー機能を有効している前提の流れです



## ■遠隔データレスキュー方法

遠隔データレスキューでユーザが行う処理 (①、④) について説明をします。

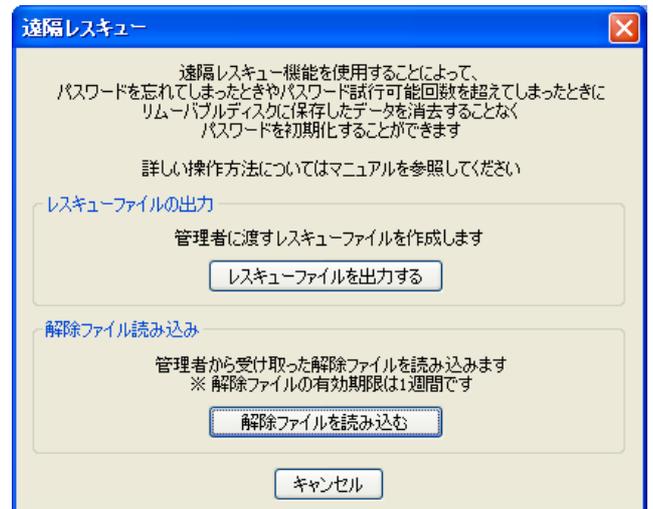
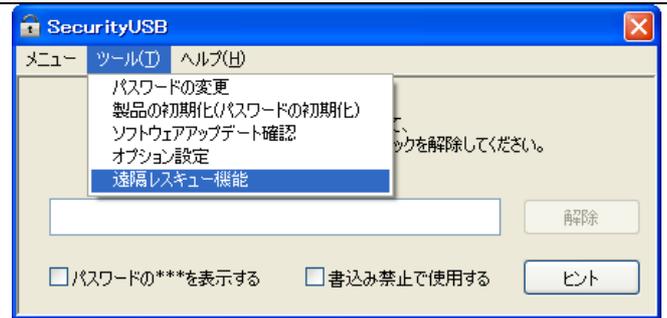
### レスキューファイル出力

パスワード入力画面から[ツール]をクリックし[遠隔レスキュー機能]をクリックします。

※ツールの[遠隔レスキュー機能]は SecurityUSB Manager で[データ救出/遠隔データ救出機能]を許可した時のみ表示されます。

[レスキューファイルを出力する]ボタンを押し、レスキューファイルを出力します。

レスキューファイルを SecurityUSB Manager を持っている管理者へ送付してください。



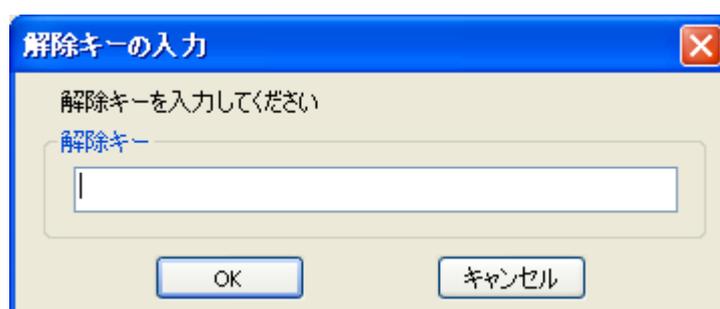
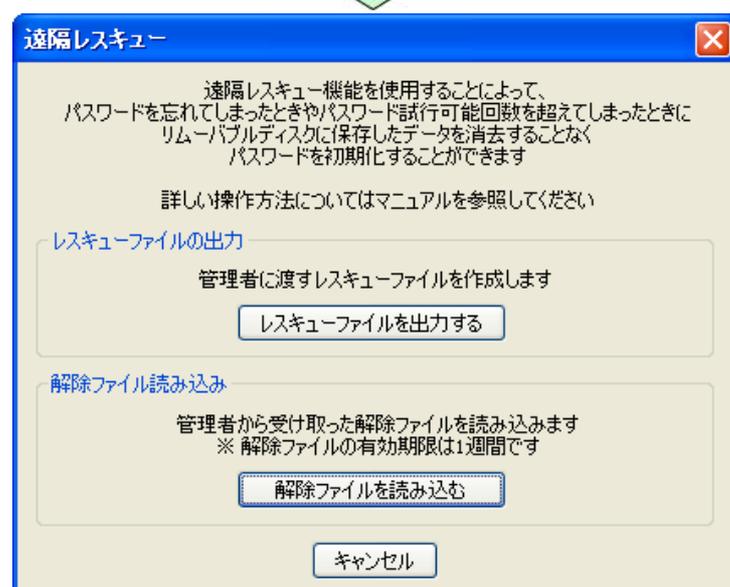
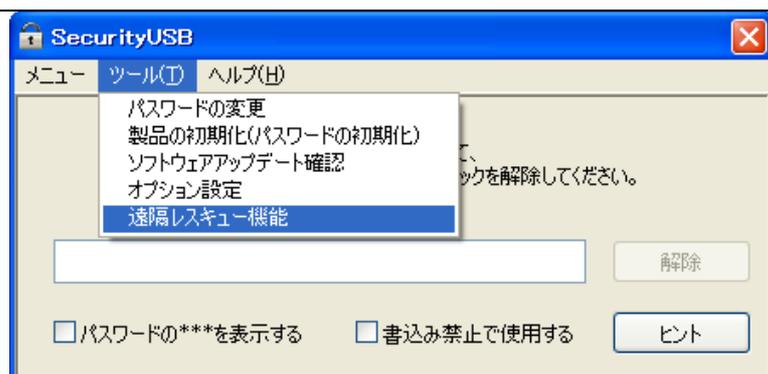
## 解除ファイル読み込み/パスワード初期化

管理者より発行された解除ファイルと解除キーを入力し、パスワード入力画面から[ツール]をクリックし[遠隔レスキュー機能]をクリックします。

[解除ファイルを読み込む]ボタンを押し、管理者から発行された解除ファイルを選択してください。

解除ファイルが正常の場合、解除キー入力画面が表示されるので、管理者より発行された解除キーを入力し、[OK]ボタンを押ししてください。

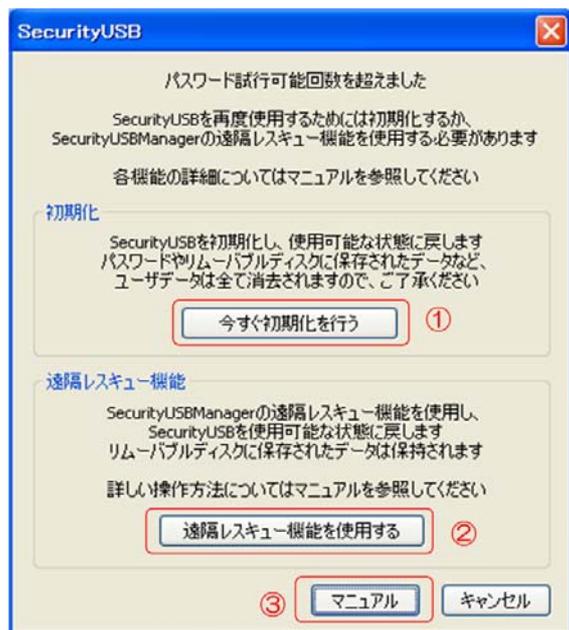
解除キーが正常の場合、デバイス内のデータを保持したまま、パスワードが初期化されます。



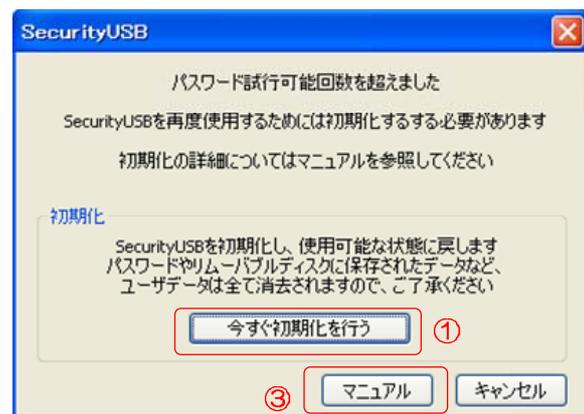
## パスワードを指定回数以上間違えた場合の動作について

パスワードを指定回数以上間違えた場合、本製品の使用ができなくなり、以下の画面が表示されます。

■SecurityUSB Manager によって[データレスキュー/遠隔データレスキュー機能]が許可されている場合



■SecurityUSB Manager によって[データ救出/遠隔データレスキュー機能]が禁止されている場合



・デバイス内のデータを保持したまま、パスワードのみ初期化を行う場合は[遠隔レスキュー機能を使用する]を押してください。

・デバイス内のデータ/パスワードの初期化を行う場合は[今すぐ初期化を行う]を押してください。

No	項目	内容
①	今すぐ初期化を行う	デバイス内のデータ/パスワードの初期化を行います。 詳細は本マニュアルの項：本製品の初期化（パスワードの初期化）を確認してください。
②	遠隔レスキュー機能を使用する	デバイス内のデータを保持したまま、パスワードのみ初期化を行います。 詳細は本マニュアルの項：遠隔データレスキューを確認してください。
③	マニュアル	本製品のマニュアルを開きます。 ※マニュアルをご覧頂くには PDF ファイルを開くことができるソフトウェアが必要です。

## リムーバブルディスク領域への書き込みを禁止する

リムーバブルディスク領域に保存されているデータの改ざん防止や削除を防止するための機能です。

パスワードの入力画面の[書き込み禁止で使用する]にチェックを入れます。

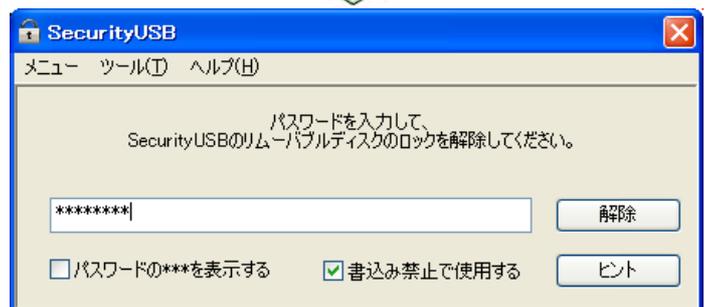
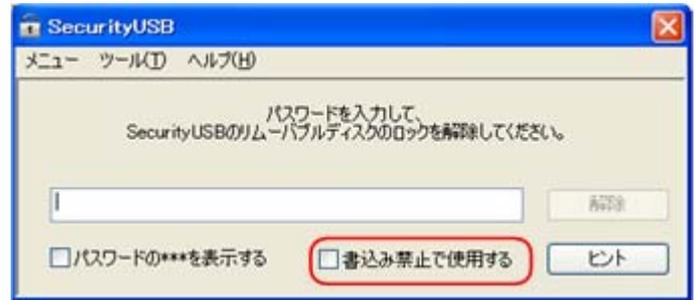
右図が表示されたら、[OK]をクリックします。

パスワードを入力し、[解除]をクリックします。

リムーバブルディスク領域を書込み禁止の状態を開きます。

書き込み禁止で使用了場合、モニタリングソフトウェアは動作しません。

本製品を取り外すにはタスクトレイからデバイスの安全な取り外しを行ってください。



### NOTE

書き込み禁止を解除するには、次回のパスワード入力時に[書き込み禁止で使用する]のチェックを外し、パスワードを入力します。

## 自動パスワード解除機能/PC 使用制限機能

SecurityUSB Manager による設定変更により、自動パスワード解除機能/PC 使用制限機能を使用可能にすることができます。

NOTE

SecurityUSB Manager によって以下の設定変更が可能です。

- ・ 特殊パスワード機能の許可/禁止（標準設定：禁止）
- ・ 自動パスワード解除機能の許可/禁止（標準設定：禁止）
- ・ 使用 PC 制限機能の許可/禁止（標準設定：禁止）

### ■自動パスワード解除機能とは

自動パスワード解除機能とは、登録した PC 上で本製品を使用した時、自動的にパスワードを入力する機能です。自動的にパスワードを入力、パスワードロックが解除されるため、ユーザの手間を減らすことができます。使用頻度の高い PC を登録することをお薦めします。PC は最大 5 件登録することが可能です。

### ■ 自動パスワード解除 設定方法

パスワード入力画面から[ツール]をクリックし[自動ログイン設定]をクリックします。

※ ツールの [自動ログイン設定] は SecurityUSB Manager で [自動パスワード入力機能] を許可した時のみ表示されます。

現在設定されているパスワードを入力し、[OK]ボタンを押してください。

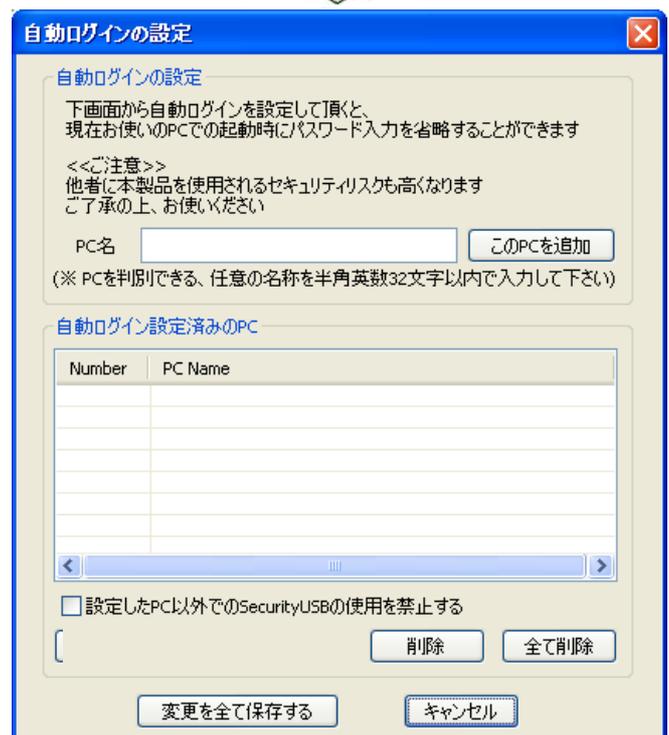
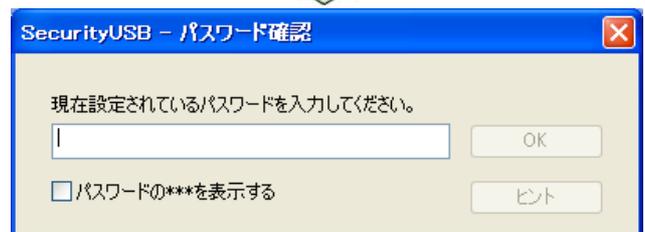
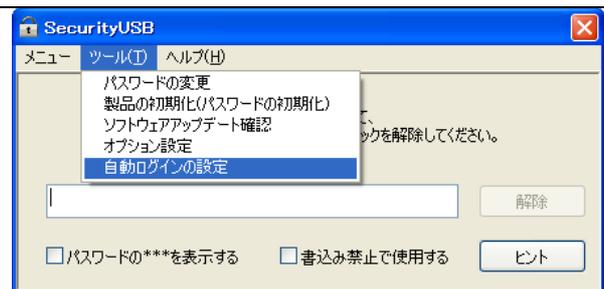
#### [設定方法]

現在本製品を接続している PC を登録することができます。PC 名入力欄へ登録名を入力してください。

その後、[この PC を追加]ボタンを押してください。PC が登録されます。

#### [登録した PC の削除方法]

登録 PC 選択し[削除]ボタンを押すか、[全て削除]ボタンを押し、その後[変更を全て保存する]ボタンを押してください。



## ■使用 PC 制限機能とは

使用 PC 制限機能とは、登録した PC 以外、本製品を使用出来なくする機能です。

紛失しても本製品の使用を防ぐことができます。登録する PC は自動ログイン機能との併用になります

## ■使用 PC 制限 設定方法

パスワード入力画面から[ツール]をクリックし[自動ログイン設定]をクリックします。

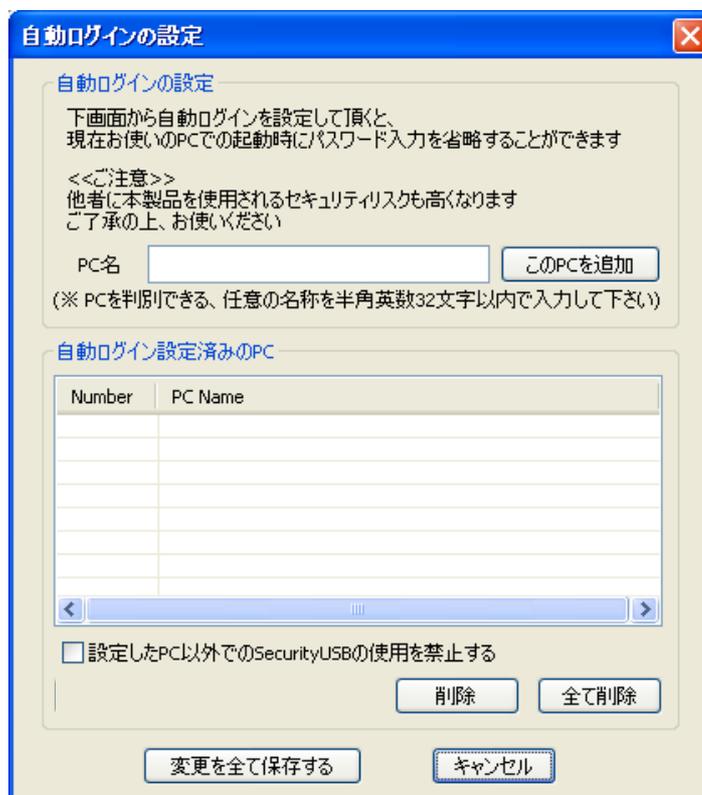
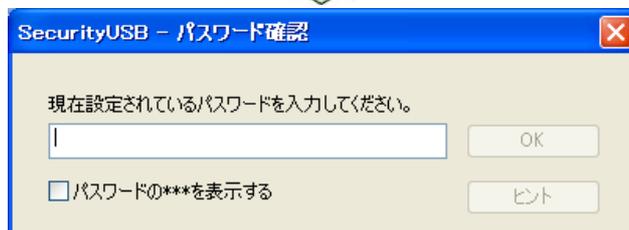
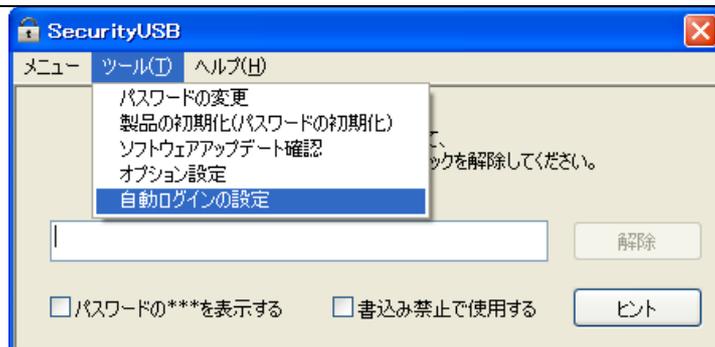
現在設定されているパスワードを入力し、[OK]ボタンを押してください。

### [設定方法]

[設定した PC 以外での SecurityUSB の使用を禁止する]へチェックを入れ、[変更を全て保存する]ボタンを押してください。

**注意!** 登録されている PC 以外使用では本製品が使用できなくなるため、設定には十分ご注意ください。

自動ログインかつ使用 PC 制限を行った PC で再度設定変更する場合は、自動ログインし、その後、再度マイコンピュータより本製品の CD-ROM ドライブを開いてください。CD-ROM ドライブ内の Startup.exe を実行すると設定変更が可能です。



## ソフトウェアアップデート

本製品のソフトウェアアップデートは以下 2 つの方法で行うことができます。

### ・ SecurityUSB 起動

※SecurityUSB 起動時に自動でソフトウェアアップデートを行わない場合は、SecurityUSB のツールバーから [ツール]→[ソフトウェアアップデート設定]でチェックを外してください。

### ・ SecurityUSB のツールバーから [ツール]→[ソフトウェアアップデート確認]実行

ソフトウェアアップデートがある場合、以下の画面が表示されます。



※ソフトウェアのアップデートを行っても、リムーバブルディスク領域のユーザデータは削除されません。  
※ソフトウェア アップデートはインターネットに繋がっている環境が必要です。

### ■ダウンロード

ソフトウェアアップデートを行う場合、[ダウンロード]ボタンを選択してください。

ソフトウェアアップデートが開始されます。

### ■アップデートを省略

本バージョンのアップデートを省略する場合、[アップデートを省略]ボタンを選択してください。

ソフトウェアアップデートを行わず、パスワード入力画面に移ります。

選択後、新しいソフトウェアが公開されるまで、ソフトウェア アップデート画面は表示されなくなります。

[アップデートを省略]を選択後に再度ソフトウェアアップデートを行う場合、次の操作を行ってください。

パスワード入力画面から「ツール」をクリックし[ソフトウェアアップデート確認]をクリックしてください。

ソフトウェアアップデート画面が表示されるので[ダウンロード]を選択してください。

ソフトウェアアップデートが開始されます。

### ■後で決める

本バージョンのアップデートを一旦行わない場合、[後で決める]ボタンを押してください。

ソフトウェアアップデートを行わず、パスワード入力画面に移ります。

本製品起動時に再度ソフトウェアアップデート画面が表示されます。

### ■アップデートの内容を確認する

アップデート内容が記載してあるWEB ページへ移動します。

## ヘルプ

本製品のマニュアルを参照することができます。

※マニュアルをご覧頂くには PDF ファイルを開くことができるソフトウェアが必要です。

パスワード入力画面から[ヘルプ]をクリックし、[マニュアル]をクリックします。

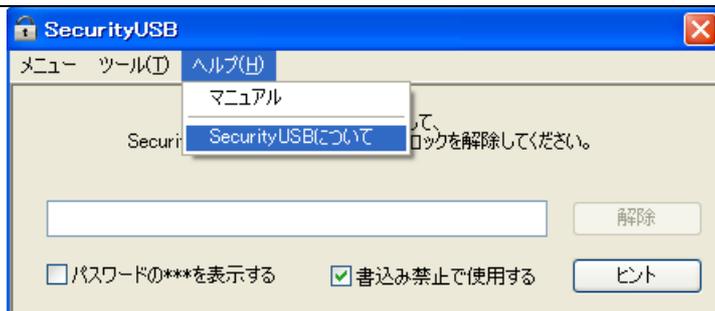


## SecurityUSB のバージョン・更新履歴確認

パスワード入力画面から  
[ヘルプ]をクリックし[SecurityUSB について]をクリック  
します。

SecurityUSB のバージョンを表示します。

[更新履歴]をクリックすると本製品の更新履歴を表示  
することができます。



## PL モニタリング ソフトウェア機能

パスワードロックを解除すると PL モニタリング ソフトウェアが起動し、タスクトレイメニューへ格納されます。  
PL モニタリング ソフトウェア  には以下の機能があります。

- ・ Autorun.inf 削除機能
- ・ ログ収集、閲覧機能
- ・ マニュアル閲覧機能
- ・ デバイス取り外し機能

### Autorun.inf ウイルス削除機能

パスワードロック解除後、リムーバブルディスク内の「Autorun.inf」を自動で削除し、安全な Autorun.inf を作成します。安全な Autorun.inf を作成することにより、Autorun.inf ウイルスのコピーを防ぎます。Autorun.inf 経由でのウイルス感染を防ぐための、簡易的な対策になります。Autorun.inf 以外のウイルス感染防止にはなりませんので、ご注意ください。

### ログ収集機能

本製品を使用した PC 情報/デバイス情報をログとしてデバイスへ保存する機能です。  
PL モニタリングソフトウェア起動後、自動的にログの収集を行います。ユーザ様が何か処理を行う必要はありません。ログはデバイスの秘匿領域に保存されているため、誤ってユーザ様に消されることはありません。

ログを閲覧するにはタスクトレイにある  アイコンをクリックし、[ログを閲覧する]を選択してください。



ログ閲覧画面

### ログ閲覧画面説明

機能	内容
ログファイル名	デバイス内に保存されているログファイルを選択することができます。
ログ出力	現在選択しているログをファイルとして出力します。
ログ一括出力	デバイス内に保存されている全てのログをファイルとして出力します。
ログ一括消去	デバイス内に保存されている全てのログを削除します。
閉じる	ログ閲覧画面を閉じます。

保存するログの内容は以下になります。

セクション名：PC Information ※PC 情報に関するセクション	
キー名	内容
Date	ログファイル作成日時 例：2010/12/16 18:06:17
ProductName	OS サービスパックバージョン 例： Windows XP SP3
ProductVersion	OS カーネルバージョン 例： 5.1
ComputerName	コンピュータ名 例： HSC
UserName	所有者 例： HAGIWARA TARO
MacAddress	MAC アドレス 例： 11-22-33-44-55-66, ※複数有る場合は”,” 区切りで複数記載
IsAdministrator	ログインしたユーザ 例：0:制限ユーザ 1:管理者
IsSafeMode	OS 起動モード 例： 0：通常起動 1：セーフモード起動
IPAddress	IP アドレス 例：10.10.11.111
セクション名：DeviceInformation ※Device 情報に関するセクション	
SerialNumber	デバイスのシリアルナンバー
DeviceType	弊社管理情報
ProductVersion	製品のバージョン情報
UniqueID	デバイスの固有 ID
DeviceID	デバイス ID
DeviceType	弊社管理番号
VendorID	デバイスの UBS vendorID
ProductID	デバイスの UBS ProductID

**NOTE**

- ・ログファイルは PL モニタリング ソフトウェア起動ごとに作成されます。
- ・ログ内容は予告無く変更される場合があります。

## マニュアル閲覧機能

本製品のマニュアルを参照することができます。

タスクトレイにある  アイコンをクリックし、[マニュアル]をクリックします。

※取扱説明書をご覧頂くには PDF ファイルを開くことができるソフトウェアが必要です

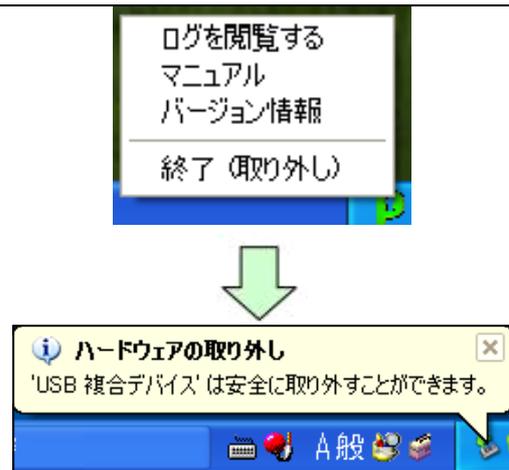
## デバイス取り外し機能

本製品を安全に PC から取り外す機能です。

### ■タスクトレイに がある場合

タスクトレイにある  アイコンを右クリックして、終了（取り外し）を選択します。

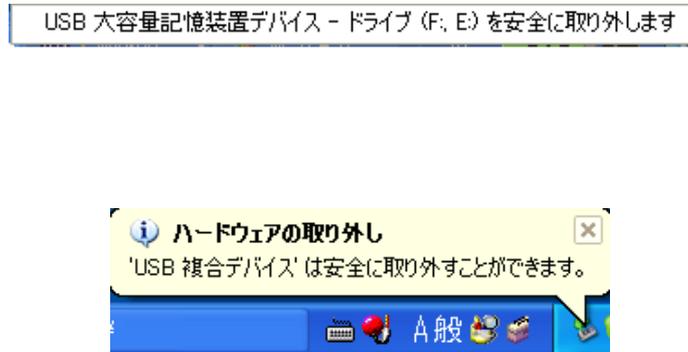
右図のメッセージが表示されたら本製品を取り外してください。



### ■タスクトレイに が無い場合（書き込み禁止で使用した場合）

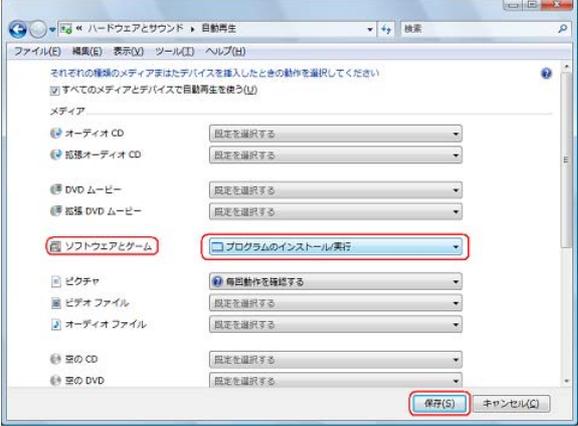
タスクトレイの  「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。メッセージのポップアップが表示されたら、本製品のドライブ名を確認してクリックします。

右図のメッセージが表示されたら本製品を取り外してください。



#### NOTE

- ・手順に従わずに本製品を取り外すと、データ破損及び故障の原因になります。
- ・本製品のリムーバブルディスクドライブは、パソコンから取りはずすとパスワードロックされます。パソコンから取り外さずに再起動/サスペンド/ユーザ切り替えを行うとパスワードロックがかからないことがあります。使用後は、必ずパソコンから取り外してください。

質問	質問	回答
Q1	本製品をPCのUSBポートに接続してもソフトウェアが自動起動しません。	<p>A1 自動起動しない場合は「マイコンピュータ」または「コンピュータ」→SecurityUSB アイコンを右クリック→[開く]を選択して、「Startup.exe」をダブルクリックして実行してください。</p> <p>また、Windows Vista でオートラン機能を有効にするには以下の設定が必要となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「スタート」 → 「コントロールパネル」 をクリックします。</li> </ol>  <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 「ハードウェアとサウンド」 から 「CD または他のメディアの自動再生」 をクリックします。</li> </ol>  <ol style="list-style-type: none"> <li>3. 「ソフトウェアとゲーム」 より 「プログラムのインストール / 実行」 を選択し、 [ 保存 ] ボタンをクリックします。</li> </ol>  <p>以上でオートラン機能の設定は完了です。</p>

Q2	本製品を PC が認識しない	A2	<p>1. PC に本製品が正しく挿入されているか確認してください。</p> <p>2. ネットワークドライブをお使いの場合は、ドライブレター（マイコンピュータ上のドライブアイコンに割り当てられている文字）にご注意ください。Windows で本製品を使用する場合は、ネットワークドライブのドライブレターと重ならないドライブ名に変更するか、一時的にネットワークドライブの接続を解除してください。本製品をPCに接続すると、仮想 CD-ROM ディスク とリムーバブルディスクの2つのドライブが表示されます。お使いのPCのCD/DVD-ROM ディスクまたはハードディスクの最終のドライブレターから2つ使用します。例えば、Cドライブがハードディスク、DドライブがDVD-ROMをお使いの場合、本製品はEドライブとFドライブを使用します。</p> <p>この状態でネットワークドライブをEドライブやFドライブに割り当てている場合、ネットワークドライブが優先されて表示されてしまうため、本製品で使用するドライブが表示されず、正しく動作できません。</p> <p>3. USB ハブ経由では使用できない場合があります。その場合は直接PCに接続してください。</p>
Q3	パスワードを入力しても[登録]ボタンが押せないため、初期設定ができません。	A3	<p>指定された文字数の範囲でパスワードを入力しているか確認の上、再度入力してください。</p> <p>半角英数字と以下の半角記号が使用できます。</p> <p>! # \$ % &amp; ' ( ) = ~   ` { + * } &lt; &gt; ? _ - ^ ¥ @ [ : ; ] , . /</p>
Q4	パスワードを忘れてしまいました。	A4	<p>1. 初期設定時にパスワードヒントを登録した場合、SecurityUSB の[ヒント]ボタンをクリックすると お客様が登録したヒントをご確認いただくことができます。</p> <p>2. パスワードを完全に忘れてしまった場合、SecurityUSB のメニューのツール→[製品の初期化]を選択してパスワードの初期化してください。パスワードが初期化されます。</p> <p><b>注意：初期化を行うとお客様のデータは全て削除されます。</b></p>
Q5	パスワードロックを解除してもリムーバブルディスク領域が開きません。	A5	<p>本製品を一旦、USB ポートから取り外し、再度接続してから、「SecurityUSB」を起動してください。</p>

## 7 サポート・メンテナンス・ライセンス

### お問合せ窓口

ご連絡先		受付
サポートセンター※	TEL : 0570-080-900	9:00~19:00 (年中無休)

※内容を正確に把握するため、通話を録音させていただいております。個人情報に関する保護方針はホームページをご参照ください。ハギワラソリューションズ株式会社ホームページ：<http://www.hagisol.co.jp>

### ナビダイヤルについて



弊社ではサービスサポートお問い合わせ窓口にナビダイヤルを採用しています。

全国の固定電話から1分間10円の通話料（発信者のご負担）でご利用いただける「全国统一番号」で、NTTコミュニケーションズ（株）が提供するサービスのひとつです。

ダイヤルQ2などの有料サービスではなく、ナビダイヤル通話料から弊社が利益を得るシステムではありません。

※携帯電話からは20秒10円の通話料でご利用いただけます。※PHS・一部のIP電話からはご利用いただけません。

※お待ちいただいている間も通話料がかかりますので、混雑時はしばらくたってからおかけ直してください。

- ◆掲載されている商品の仕様・外観、およびサービス内容等については、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◆Microsoft Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ◆その他掲載されている会社名・商品名等は、一般に各社の商標又は登録商標です。なお、本文中には®および ™ マークは明記してありません。
- ◆本ドキュメント内容は、2012年3月9日時点のものです。今後、当該内容は予告なく変更される場合があります。

本製品にはオープンソースのファイルアーカイバ[7-Zip]を使用しております。

以下にライセンス情報を記載します。

#### ◆ライセンス

7-Zip: [www.7-zip.org](http://www.7-zip.org)

License for use and distribution

7-Zip Copyright (C) 1999-2012 Igor Pavlov.

Licenses for files contained in 7zip folder are:

- 1) 7z.dll: GNU LGPL + unRAR restriction
- 2) All other files: GNU LGPL

PasswordLocker 3  
型番：HUD-PL\*\*GM  
マニュアル  
2012年3月9日 第1版